

3. 柳川水路

新屋坐天照御魂神社(西河原社)を出発点として、磯良神社、JR 総持寺駅、阪急総持寺、総持寺団地、柳川町、川添、富田団地、玉川への水路です。

富田の水路はこの柳川水路へ接続しています。

「河川」は、浸食された地表のくぼみを雨水や地下からの湧き水が流れる細長い地形で、標高が高い所の谷にある水源から標高の低い海の河口部に向かって流れるのが特徴です。

「水路」は水を送るために造った人工で作った生活に密着した水路です。

柳川水路は、茨木市との市境のエリアが多いです。

柳川の地名は、柳行李(やなぎこうり)の材料になる「コリヤナギ」の産地だったので「柳川」という川名・地名がつけましたが、今では柳はなく、桜の木が並んでいます。

4. 玉川の由来

玉川は古くから卯の花の名所として日本有数の景勝地である「六玉川」のひとつに数えられていました。

「六玉川」は全国6か所にある玉川の名を冠する景勝地のことを言います。

名称	場所	風物
「山城国井手の玉川」	京都府井手町	山吹
「近江国野路の玉川」	滋賀県草津市	萩
「武蔵国調布の玉川」	東京都多摩川	晒布
「陸前国野田の玉川」	宮城県多賀城市	千鳥
「紀伊国高野の玉川」	和歌山県高野山	旅人
「摂津国三島の玉川」	大阪府高槻市	卯の花

玉川は「摂津国三島の玉川」と呼ばれ、風物である卯の花が咲きます。

初夏には松尾芭蕉をはじめさまざまな歌人が数多くの詩歌を詠っていました。

「摂津国三島の玉川」には、実はもう一つの呼び名があります。

それは「砧の玉川」です。

「砧」とは今では使われることは無くなりましたが、洗濯物を木の棒等で叩きくことで、生地を柔らかくし、皺を伸ばすために使用された道具です。

現代のアイロンや洗濯機と同じく生活必需品で、洗濯風景が描かれた「摂津国擣衣の玉川」という浮世絵があるほど玉川では有名な風景でした。

浮世絵は国立国会図書館デジタルサイトでご覧いただけます！

[国立国会図書館デジタルサイト「摂津国擣衣の玉川」](#)

砧(きぬた)は、洗濯した布を生乾きの状態で台にのせ、棒や槌でたたいて柔らかくしたり、皺をのばすための道具。

